

熊谷崇 単行本を読んで 感想文

医院名：オカダデンタルオフィス

名前：岡田 淳 職種：歯科医師

熊谷先生がどのような35年を歩み、オーラルフィジシャンとしての現在を確立されたのかを、歯科医療哲学から私生活に及ぶまで、非常に分かりやすく執筆されており、まさに密着取材であったからこそ分かる、非常に有意義な内容でした。熊谷先生がプロフェッショナルやカンブリア宮殿において語った歯科医療の本質は、すでに多くの視聴者の心を驚掴みにし、歯科医療に対する価値観の変容を促しました。そして未だ旧態依然を繰り返している多くの歯科医療従事者には、まさに驚天動地の内容として受け止められました。それらの内容を補完する形で、今回の出版が行われておりますが、TVでは語りつくせない内容が、さらに数多く含まれており、非常に良い内容でした。特に熊谷先生だけでなく、従業員（特に衛生士）の仕事に対する意識や心がけ、仕事ぶりについても触れられており、そこには日吉歯科全員がまさにプロ集団であることが描かれて、おり、驚きと共に我々の目指す医療の頂きをそこに見ることができ、大変勉強になりました。

長期通院されている80代の女性を例に、35年に及ぶ日吉歯科の取り組みが、一人ひとりの口腔健康を守り、人生にどれだけの価値を見出すことができるのか、多くの読者に熱く届く内容です。そして、その取り組みが診療室という枠組みを超えて、酒田市という地域社会全体に変革をもたらし、家族、企業、教育、行政等、各々の立場で、地域の底上げ的な歯科予防活動が実践されていることに大変感銘を受けました。私達の目指す歯科医療が大きなエネルギーを内包していることを改めて自覚し、この魅力・可能性を、多くの歯科医師、患者と共有し、それぞれの地域から予防歯科の芽が芽生え、日本全体が、国民の歯科に対する価値観が変革することを望んでやみません。今まさに、その時期を迎えています。私達は歯科医療を超えて成し遂げていかなければならないと感じています。

熊谷先生の地域住民の口腔健康を真に守るという信念。それを貫き、ぶれずに実践してこられた結果が、驚きと賞賛を持って、現在多くのメディアに取り上げられています。その道を作ることは、先生が「毎日が格闘技」を表現されたように、苦難の連続であったと思います。その点、今の私たちは恵まれています。それは、先生の作った道が、既に「太く、長く」存在するから。歯科医師を志したものであれば、責任と誇りを持ってこの王道を歩むべきだと思います。

す。

国民の多くは「歯科医療の明るい未来」「歯科医療によって得られる自身の明るい未来」を知りません。知らなければ、価値を見出すことはできません。しかしながら、知れば必ず変わります。NHK プロフェッショナル、カンブリア宮殿、そして今回の単行本の刊行というマスメディアの効果は、予防歯科医学に対する患者の意識を、スピード感をもって変える事ができます。積極的な情報発信の重要性を改めて感じると同時に、それを即座に実現していく熊谷先生の行動力と先見性に改めて感銘を受けました。